

# 観洋スタッフ研修旅行～in宮城&岩手

今年1月、近隣の観光地と震災遺構を巡る旅となりました。  
 まずは、昨年の台風被害が甚大だった  
 「道の駅津山もくもくランド」様と「柳津虚空蔵尊」様を視察。  
 その後、「登米懐古館」様と気仙沼市の「伝承館」様を見学。  
 今年のお宿は、姉妹館の「気仙沼プラザホテル」でした。



2日目、陸前高田市の「伝承館（いわてTSUNAMIメモリアル）」様を視察した後  
 語り部シンポジウムでも大変お世話になった「釘子明」様の町内案内。  
 陸前高田の街を住民目線でお話いただきながら、「普門寺」様を訪問の後  
 売店で好評販売中！岩手名物「かもめの玉子」等を製造している  
 大船渡市のさいとう製菓様、「かもめテラス」様でお土産タイム！  
 その後、白いアーチの橋が美しい昨年開通の気仙沼の「大島大橋」へ。



# KANYO



～これで貴方も観洋ツウ VOL 84  
 南三陸ホテル観洋 2020.4月号

## 2020年度(株)阿部長商店入社式



社長から社章を授与されます。



新入社員代表謝辞は気仙沼食品に配属された服部さん

4月1日、南三陸ホテル観洋にて株式会社阿部長商店の入社式が行われました。  
 今年は6名のフレッシュな皆様が入社しました！  
 全体での研修を終え、現在はそれぞれの配属先で日々勉強中でございます。  
 南三陸ホテル観洋へ入社したのは2名です！  
 館内でお見かけの際はぜひお声がけくださいませ♪



### 編集後記

運動不足を感じたので  
 スクワットをしたら  
 生まれたての小鹿状態になりました。  
 急に始めるのはよくないですね... 村上

この前、いつも見る野良猫と一緒に狸が座っていました。お互いに威嚇する様子もなく...？可愛いので経過観察中です。阿部

新年度がスタート。今年度は勉強して資格取得などスキルアップの年にしたいです。真木

宮城県・南三陸町の海産グルメ通販サイト

### 南三陸復興ストア



食品から雑貨まで、様々な商品を取り扱っております。  
 在宅勤務で食事の献立に困っている方や  
 外出できずお買い物ができない方へ！  
 南三陸復興ストアは年中無休で営業しておりますのでぜひご利用くださいませ♪

南三陸復興ストア

### 当館女将発案！ 南三陸キラキラうに丼



うに丼の提供が5月からスタートします！  
 ふんだんに盛られたウニと別添えの仙台味噌だれがベストマッチ♪  
 頬がとろける美味さです！

2,800円(税込3,080円)

当日の仕入状況により提供できない場合がございます。ご了承くださいませ。

### 東日本大震災から今年で9年が経ちました。

2020年3月11日。開拓を続けている「海の見える命の森」にて桜の苗木の植樹を行い、祈りを捧げました。  
 前日の10日まで雨風が強く、植樹が心配されていたものの当日は晴天で良い植樹日和となりました。  
 顔合わせでは三陸復興観光コンシェルジュセンター長の阿部様やNPO法人桜並木ネットワークの桜野様、

当館で語り部を行っている後藤様より挨拶や植樹の説明を受け、開始となりました。  
 植樹の印がある場所へ行きグループごとに6～8本を植樹。  
 自然の山を開拓しているため、岩や木の根っこを取り除きながら作業を進めました。  
 植樹が終わった後は海を見ながら参加者の皆さんと昼食会。  
 開拓のために伐採した木で作成した机やイスがあり、ピクニックなどにも最適です。  
 植樹の後は「追悼セレモニー」が行われました。弊社阿部副社長からは「今後10年・100年・1000年先もこの場所が手を合わせる場所、

そして震災の教訓を伝える場所、人々の心を癒す場所として維持・管理をしていきます」と挨拶し、  
 昨年の11月にミャンマーより寄贈された「南三陸大仏」へ献花を行いました。  
 そして天気雨が降り始めた「14時46分」。志津川湾へ参加者の皆様と黙祷。  
 閉会では弊社阿部女将が「どうかこれからも皆様に足を運んでいただけるような場所、そして万が一震災が起きた時、この場所は命が助かる場所になりますように」と申しました。  
 その後、空を見上げれば各被災沿岸部で確認された「虹」の風景。忘れることはないでしょう。  
 来年は節目となる10年目を東北は迎えます。毎日変わっていく景色の中で自分達に何ができるのかを考え、行動しながら、復興へ地域と共に歩んでまいります。



# 「第5回全国被災地語り部シンポジウム in 東北」 「KATARIBE」を世界へ～多様で持続可能な、語り部の未来～

2020年2月24日・25日と2日間にわたり、約400名の参加者様と共に意見交換や学びを深めました。  
 第1部では「南三陸」と「気仙沼」の2つに分かれ語り部バスにて気仙沼「命のらせん階段」をご覧頂きました。  
 第2部はオープニングセレモニーから始まり、基調講演では徳山日出男様による「教訓が命を救う-「語り部」のもつ尊い使命」をテーマとして講演が行われました。「震災を風化させてはならない・忘れない」そして、「教訓が命を救う。世代を超えて伝えていかなくてはならない」とお話を頂きました。  
 メインディスカッションでは「語り部の未来」を議題に、現在語り部をして伝えている方々にお越し頂き、「語り部」を行うと言うことはその土地の人と繋がる事、これが絶ってしまうと復興するにできないものがある。とのまとめを。  
 第3部では4つの分科会に分かれ、それぞれの議題で意見交換。日本以外に存在する語り部の事、語り部として生きる事情報が溢れる社会だからこそ、自分の判断も必要になってくる事や学生の方々などの若い世代も分科会に参加し、震災遺構などの後世に伝えていくにあたり必要不可欠なものへの関心も高まりました。  
 1日目は第3部まで。この後は講演などを行って頂いた方々と参加者の皆様の交流会が行われました。



2日目は第4部の「語り部(KATARIBE)事例発表」から。震災時の実話を1つの物語にし、紙芝居に仕上げたもので小さなお子様でも分かりやすい伝え方を考案頂きました。そして「命でんでんこ」についての詳しいお話、震災の教訓。傍に大切な人が居なくても、地震が起きたら高台へ。「生きる術」を後世に伝えることが使命だと学ぶことができました。「KATARIBE」を世界への取り組み。についても説明頂きました。外国の方を交えて「交流拡大モデル事業」を立案。SNSを通して東北の魅力を発信頂き、交流を深めることを目的にするなど、今世代ならではの方法を発表頂きました。第5部のクロージングセレモニーでは、1日目・2日目のまとめを発表頂き分科会で分かれた内容もまとめて頂いたため、それぞれに参加していた皆様の意見がまとまり、皆様にも有意義な時間となったことと思います。

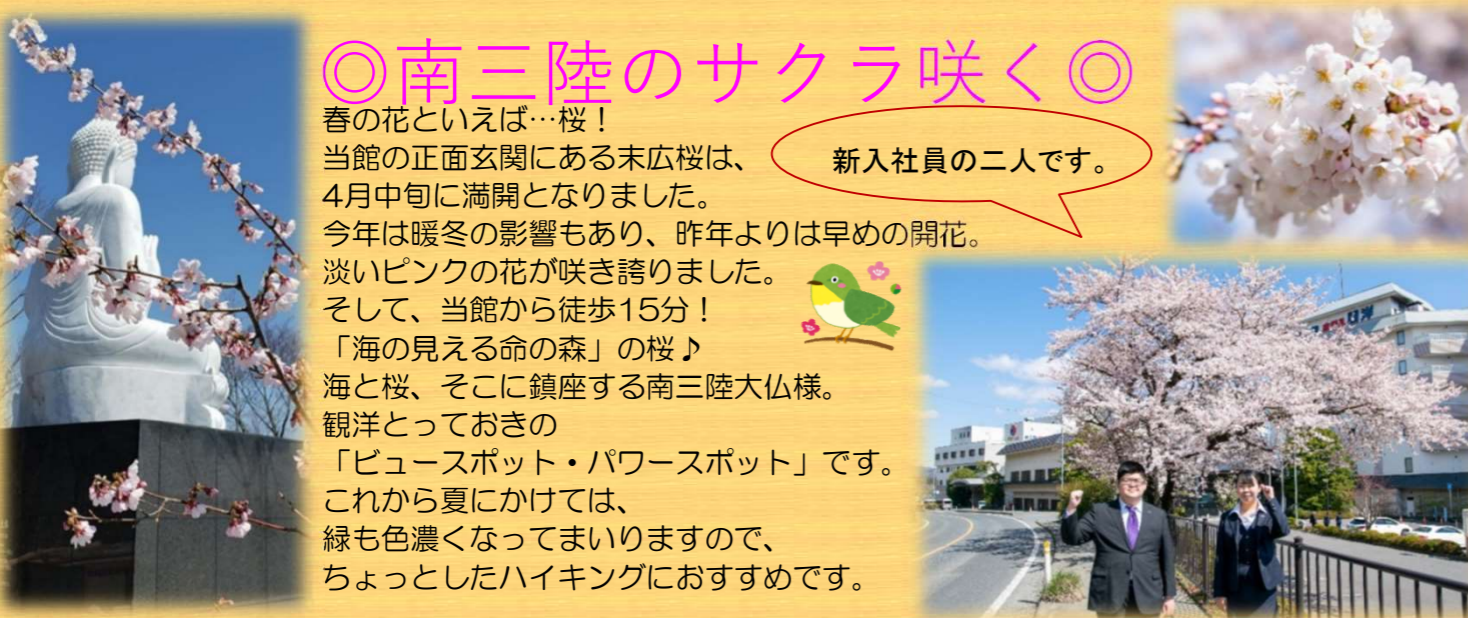


最後には「海に見える命の森」と「大川小学校」の2つに分かれ、現地へ向かいました。震災時の事をご説明頂きながら、9年の月日は経とうとしていた今のご案内いただきました。あの日起きた未曾有の大震災。もう二度と大きな被害を出さないようするべきことは何なのか。を皆様にもお考えいただき、第5回目となる全国被災地語り部シンポジウムは無事、幕を閉じました。



## ◎南三陸のサクラ咲く◎

春の花といえば…桜！  
 当館の正面玄関にある末広桜は、**新入社員の二人です。**  
 4月中旬に満開となりました。  
 今年は暖冬の影響もあり、昨年よりは早めの開花。  
 淡いピンクの花が咲き誇りました。  
 そして、当館から徒歩15分！  
 「海に見える命の森」の桜♪  
 海と桜、そこに鎮座する南三陸大仏様。  
 観洋とっておきの  
 「ビュースポット・パワースポット」です。  
 これから夏にかけては、  
 緑も色濃くなってまいりますので、  
 ちょっとしたハイキングにおすすめです。



# 春のインターンシップ

今年の春も、東京の大学から2班2週間ずつ29名、台湾の大学から1か月間5名と8か月間2名の学生が当館でインターンシップをしました。  
 ひなまつりの時期には雛飾りのお手伝いをさせていただき、当日は全員で協力しながらお客様へお菓子をサプライズプレゼント♪ とても喜ばれました！



インターンシップの期間中には課題を設け最終日に発表していただきました。  
 今回のテーマは『南三陸の魅力を県外へ発信する方法』でした。新しいプランや斬新なSNS活用方法など沢山のアイデアが生まれ、私たちもとても勉強になっています。



## 当館保育園 マリンパルだより

2月 節分・バレンタインデー



3月 ひなまつり



4月 Yちゃんが卒園し新しいお友達が増えました♪



日々見せてくれる可愛い笑顔から目も離せません！  
 今後の成長もお楽しみに♪



## 2・3月のサプライズ特集!?

2・3月はサプライズが盛りだくさん！  
 当館からささやかながらサプライズをご用意♪



2月3日…節分

2月14日…バレンタインデー



3月3日…ひな祭り

3月14日…ホワイトデー

今後も時期によっては、何かサプライズがあるかも？  
 乞うご期待くださいませ。